

薬連ハイライム

本田あきこ全国訪問活動スタート!!

日本薬剤師連盟組織内統一候補として決定した本田あきこ副会長の全国訪問活動が4月2日、地元である熊本県からスタートした。この訪問活動は全国の薬剤師に本田あきこ副会長の政策と人柄などを知っていただくとともに、医薬分業制度の定着等の政治理念を訴えることを目的に薬局などへ週4日のペースで行っている。



熊本県

九州ブロックは熊本-佐賀-長崎-鹿児島-大分-福岡-沖縄と周り、また、その合間を縫って全国の薬剤師連盟総会や政経セミナーで講演するなど精力的な活動を行っている。(日本薬剤師連盟Facebook参照)

尚、6月からは、年内を目途に全国の薬剤師連盟への挨拶回りを実施し、来年から全国キャラバンを再開する予定。本田あきこ副会長を見かけたら気軽に声援、激励をお願いします。



佐賀県

もとゆき便り

決算委員会での質問

自由民主党総務副会長
参議院議員・薬剤師
藤井もとゆき

国会は後半を迎えています。私は4月4日、6日の厚生労働委員会、24日の決算委員会と、これまでに3度の質問機会を得ることが出来ました。

決算委員会では、急速に高齢化が進む中で医療に従事する医師や薬剤師等の医療専門職は年々増加しているものの、過酷な労働環境が問題視され、さらに女性の進出が著しい状況において、出産や育児等を考慮すると人材の確保と働き方改革が急務であるとの認識から、その対応について厚生労働大臣の見解を伺い、「都道府県ごとに医療勤務環境改善支援センターを設置し、勤務環境改善への支援体制を整備していること。さらに今月まとめられた、「新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会」の提案も踏まえ、医療従事者の働き方について考えて参ります。」とのお答えを頂きました。

続いて、国内では危険ドラッグの問題は下火となったものの、国際的には引き続き収まる状況にないこと、また大麻に関して、国際条約に反してウルグアイや米国の一部州で娯楽目的の使用を合法化し、カナダでも

合法化の動きがあることなど、薬物問題の国際的な動向も踏まえた政府の防止対策について、薬物乱用対策推進会議の議長でもある厚生労働大臣に質問し、「薬物乱用対策は引き続き重要な課題と認識しており、推進会議の議長としてリーダーシップを発揮し、関係省庁と連携・協力してしっかり取り組んで参ります。」との決意を伺いました。

最後に、C型肝炎治療薬「ハーボニー配合錠」の偽造品流通問題について、4日の厚生労働委員会に続いて質問しました。今回は、4月13日の毎日新聞に掲載された、無許可の事業者を通じて和歌山県内の医療機関に納入されていた件について経過確認し、関係した事業者等への適切な対応を要求するとともに、制度整備を含めた再発防止への早急な取り組みを厚生労働大臣に要請しました。

委員会の中継録画や議事録は、参議院ホームページから見る事が出来ますので、関心のある方は是非ご覧頂ければと思います。

藤井議員に関するご意見・ご要望等がございましたら、全国藤井もとゆき薬剤師後援会(下記アドレス)までご連絡くださいますようお願いいたします。

zenkoku@m Fujii.jp